

第3回

ひょうご

がんシンポジウム

がんを知る、がんと向き合う、がんと闘う

平成23年 4月10日(日) 14時～

よみうり神戸ホール

司会 井上 さゆ梨 (ラジオ関西パーソナリティ)

🌸 開会のごあいさつ 山村 武平 (ひょうごがん対策委員会委員長)

🌸 祝辞 太田 稔明様 (兵庫県健康福祉部医監兼健康局長)

- 🌸 講演内容
- 「肝がん」にならないための秘訣とは  
～肝がんのリスク因子とその対処法～  
兵庫医科大学肝胆膵科 主任教授 西口修平  
同 肝疾患センター長
  - 「肝がん」を早く見つけて治療しよう  
兵庫医科大学 超音波センター センター長 飯島尋子  
肝胆膵科 教授

🌸 Q&A

🌸 閉会のごあいさつ 常松 健一 (ひょうごがん対策委員会委員)

[主催] ひょうごがん対策委員会

[後援] 兵庫県・兵庫県健康財団・兵庫県医師会・兵庫県がん診療連携協議会・兵庫県薬剤師会・ラジオ関西・読売新聞大阪本社 神戸総局



## ご挨拶



ひょうごがん対策委員会

委員長 **山村 武平**

最新のデータによれば、おおよそ2人のうち1人が一生のうちに「がん」と診断され、おおよそ3人に1人が「がん」で死亡する時代となっています。

かかり易い部位としては、胃、大腸（結腸十直腸）、肺、乳房、肝の順となっています。生死に関わる5年生存率（5生率）から見ると、臨床的に比較的軽い「限局がん」で胃、大腸、乳房では90%以上となり良好ですが、肺では69%、肝では33%と不良です。さらに「一定領域に拡がったがん」では5生率が肺19%、肝は10%ときわめて不良であり、治療に難渋している状況です。

兵庫県では肺がん、肝がんの死亡率が全国平均に比較してかなり上廻っており、これに対して重点的に対策を推進しています。がん対策委員会でも前回シンポジウムでは「肺がん」を、そして今回は「肝がん」を取り上げ、皆様に情報を提供し知識を共有しながらがんと向き合い、がん闘いたいと思っています。

本日も講演をいただく西口主任教授、飯島教授は肝疾患・肝がんの診断・治療において、本邦のみならず世界的にも大変ご活躍中の多忙な方々ですが、皆様にわかり易くお話していただける筈ですので最後までしっかりとお聴き下さい。



兵庫医科大学 内科学 肝胆膵科 主任教授

**西口 修平** にしくち しゅうへい

本籍：大阪府

学歴：1981年 大阪市立大学医学部 卒業  
 1986年 大阪市立大学医学研究科 卒業 医学博士授与  
 1993年 アメリカ ソーク研究所（ダルベッコウ研究室）客員研究員

職歴：1981年 大阪市立大学第三内科（山本裕夫教授）入局  
 1986年 同 助手  
 1995年 同 講師  
 2000年 同 輸血部 副部長・第三内科助教授  
 2001年 同 肝胆膵病態内科学 助教授  
 2005年 兵庫医科大学 内科学 肝胆膵科 主任教授  
 2008年 同 治験センター長 および 肝疾患センター長兼務



兵庫医科大学 超音波センター センター長・内科学肝胆膵科 教授

**飯島 尋子** いいじま ひろこ

学歴：1983年3月 兵庫医科大学 卒業

職歴：1983年6月 兵庫医科大学病院 第三内科教室 入局  
 1996年4月 兵庫医科大学 第三内科 助手  
 2000年9月 東京医科大学 第四内科 講師  
 2003年11月 カナダトロント大学総合病院  
     放射線科 客員臨床教授  
     カナダトロント大学 サニーブルック校舎  
     生物物理学教室 客員教授

2005年4月 兵庫医科大学 中央医療画像部門 助教授  
 2005年6月 兵庫医科大学 内科 肝胆膵科 助教授（兼任）  
 2008年4月 兵庫医科大学 超音波センター センター長、  
     内科 肝胆膵科 教授（兼任）